

西海ブロック水産業情報

NO. 81 (平成25年4月～6月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
記載なし	<p>今漁期のフトズク養殖生産量は2.1トンで、前年比22%であった。今漁期は種網育苗期の低水温による生育不良により、生産が不調となったものと考えられた。</p> <p>【カキ養殖】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中～南部の漁場で軽微な魚類による食害があるが、成長、生残ともに良好に推移。 ・今年度も、7漁協(支所)で自家採苗を実施予定。 <p>【栽培漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルマエビ及びガザミの中間育成を実施。 ・「かぐや方式」によるアサリ増殖試験を実施中。 ・行橋市地先に殻長8～10mmのアサリ25万個を放流。 <p>【資源管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月1日から、抱卵ガザミの再放流を実施。 <p>(増殖)</p> <p>水産庁事業で、50mmクルマエビ種苗を6月12日～20日にかけて、37.3万尾放流。</p> <p>(ノリ養殖関係)</p> <p>カキ殻糸状体の培養を開始してから約3か月が経過した。成長は昨年並みで、胞子のうの形成割合は3割程度</p>	<p>【研究の動向】</p> <p>【水産資源関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイラギ・サルボウ調査、漁獲物動向調査(市場調査)を実施。 【水産海産・漁場保全関係】 ・漁海定線調査、漁場環境モニタリング調査(底質、マクロベントス)、サルボウ適正生息環境調査(水質)、貝毒分析(サルボウ) 【水産増養殖関係】 ・サルボウ生息、浮遊幼生・付着稚貝発生調査 ・放流アゲマキ追跡調査、アサリ・サルボウ生息量調査 ・養殖マガキの付着密度比較試験、垂下推進比較試験及び長期抑制試験 ・有明海産カキ類の採苗・養殖試験 ・沖合域におけるモガイ殻散布耕耘試験の追跡調査 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有明水産振興センターのホームページに魚海況情報として、赤潮情報や海況関連情報の公開を継続中。 <p>【水産資源関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサリ <p>平成25年度4月下旬から5月上旬にかけて実施した生息調査において、平均生息密度は91個体/㎡と昨年同時期(41個体/㎡)の2倍強であったものの、漁獲サイズ(殻長30mm超)の平均生息密度は4個体/㎡と昨年同時期(32個体/㎡)の1/8に激減していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルボウ <p>今年度の操業は、缶詰原料としてのむき身の売れ行きが悪いため、6月下旬(例年は7月中旬)で終了した。このため、漁期前の生息状況調査を基に推定した漁獲量(3,300トン)を下回るものと推定される。【水産海産・漁場保全関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質は、4月・5月は昨年並み、6月は昨年よりやや低めで変動した。 ・比重は、4月は昨年並み、5月は昨年よりやや高め、6月は昨年並みで変動した。 <p>【水産増養殖関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ <p>平成24年度の生産状況は、生産枚数が21億35百万枚、生産金額が211億12百万円で、最近5年間(19～23年度)の平均生産枚数19億96百万枚、生産金額209億74百万円をともに上回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルボウ養殖 <p>サルボウの浮遊幼生、稚貝は順調に増加しており、6月末現在、採苗器(バーム、メダケ)の設置が行われている。</p> <p>【佐賀県玄海水産振興センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カサゴ:5月下旬までに中間育成用15万尾(45mmサイズ)配布。6月下旬まで放流用種苗(55mmサイズ)1.5万尾配布。 ・アカウニ:4～6月に8～12mmサイズ約67万個配布。 ・ナマコ:6月にアオナマコ6万個体(10～20mmサイズ)、アカナマコ2万個体(10～20mmサイズ)配布。 	<p>○養殖魚類の育種技術開発研究事業</p> <p>【ホシガレイ】偽雄化処理魚の後代検討魚を中間育成中</p> <p>【トラフグ】代理親魚技術によるトラフグYY雄作出試験実施中。優良親魚候補(早熟、高成長)由来種苗の形質評価試験実施中。○良質な種苗の生産技術開発研究事業</p> <p>【カワハギ】早期種苗の生産を実施。</p> <p>○クロマガロの種苗生産に向けた飼養技術の高度化(プロジェクト研究)</p> <p>【クロマガロ】シロギス幼魚・親魚の継続飼育中。</p> <p>○貝類の増養殖技術開発</p> <p>【タイラギ】貝殻散布による漁場改良試験。種苗生産の基礎試験を実施中。</p> <p>【マガキ】シングルシードの養殖試験を実施中。</p> <p>○標識放流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラフグ(TL7cm、310千尾、有明海) ・クルマエビ(BL5cm、224千尾、有明海) ・ガザミ(TCM1cm、100千尾、有明海) <p>○放流魚追跡調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラフグ、ホシガレイ、ヒラメ、オニオコゼ、クエ、ガザミ、クルマエビ他について追跡調査を実施。 	<p>○養殖クルマエビのPAVが養殖場で1件発生(6月中旬)。その後感染の拡大はなし。</p> <p>○養殖マダイのエビテリオシスチス感染地域が拡大している。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>スジアラ種苗生産:6月採卵分を20トン水槽2面で生産中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/17～23に長島町浦底湾で赤潮(ハテロングマアカンオ)が発生 最高細胞数 30,000cells/ml 漁業被害無し ・6/1に長島町幣串で赤潮(カレニア ミキトイ)など複数の渦鞭毛藻類が発生 カレニア ミキトイの最高細胞数 2,000cells/ml 漁業被害無し ・6/2～14に鹿児島湾で赤潮(シャットネラ マリーナ)が発生 最高細胞数 5,800cells/ml 漁業被害無し 	<p>・ウズバハギ種苗生産技術開発試験</p> <p>6月中旬から、採卵のため体重1.0～1.3kgの天然親魚17尾を確保し飼育中。下旬に微量の産卵が確認された。</p>	記載なし	記載なし